

平成26年 第3回京丹後市教育委員会会議録

- 1 開催年月日 平成26年2月25日(火)  
開会 午後4時30分 閉会 午後5時35分
- 2 場 所 大宮庁舎 4階 第2・3会議室
- 3 出席委員名 小松慶三、文珠清道、森益美、野木三司、米田敦弘
- 4 欠席委員名 なし
- 5 説明者 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本 茂、  
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、  
子ども未来課長 中村八寿子、社会教育課長 土出政信、  
文化財保護課 吉田 誠、総括指導主事 後藤幸雄
- 6 書 記 教育総務課長補佐 坪倉武広
- 7 議 事  
(1) 議案第11号 平成26年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について  
(2) 議案第12号 平成26年度教育委員会関係予算について  
(3) 報告第5号 京丹後市立学校医の解嘱及び委嘱について
- 8 その他 諸報告
- 9 会 議 録 別添のとおり(全12頁)
- 10 会議録署名  
別添の会議録は書記が記載したものであり、別添記載の正確であることを認めここに署名する。

平成26年5月7日

委員長 小松 慶三

署名委員 野木 三司

〔招 集 者〕 京丹後市教育委員会委員長 小松慶三

〔被招集者〕 文珠清道、森益美、野木三司、米田敦弘

〔説 明 者〕 教育次長 吉岡喜代和、教育理事 木本勝幸、教育理事 竹本 茂、  
教育総務課長 藤村信行、学校教育課長 山根直樹、  
社会教育課長 土出政信、子ども未来課長 中村八寿子、  
文化財保護課長 吉田誠、総括指導主事 後藤幸雄

〔書 記〕 教育総務課長補佐 坪倉武広

〈小松委員長〉

ただいまから「平成26年第3回京丹後市教育委員会臨時会」を開会いたします。  
委員の皆様方におかれましては去る2月19日の小中一貫教育の研究発表会にご出席をいただきましてありがとうございました。子どもの育ちと指導の一貫性を目指してという研究テーマの下、網野中学校区における小中一貫教育の教育実践の様子を公開授業に続きまして各先生方から発表いただき、私どもの更なる理解を深めることに良いきっかけになったと思います。関係の皆様方のご努力に対しまして敬意を表しますと共に、28年度のすべての中学校区での実施を目指して今後ともよろしくお願い致したいと思っております。

〈小松委員長〉

それでは、本日の会議録署名委員の指名をさせていただきます。  
野木委員を指名致しますのでよろしくお願いいたします。  
それでは、お手元の会議次第にそって議事を進めさせていただきます。

〈小松委員長〉

初めに、会議の非公開についてお諮りを致します。  
議案第11号は京丹後市教育委員会会議規則第16条第1項第1号の規定により、非公開としてよろしいでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしということで全員の賛同を得ましたので、議案第11号については非公開とさせていただきます。

（非公開部分省略）

〈小松委員長〉

これより会議を公開とします。

〈小松委員長〉

次の議案に入らせていただきます。

議案第12号「平成26年度教育委員会関係予算について」を議題と致します。

米田教育長から提案理由の説明をお願いします。

〈米田教育長〉

これにつきましては、順番に沿って各課長の方から説明を致します。

〈吉岡教育次長〉

各課長が説明をする前に私の方から全体的なことだけさせていただきます。資料の一番後ろに市全体の歳出予算の表があります。少し下も見てください。一番最後のページです。

平成26年度一般会計予算の予定なのですが、歳出合計は341億9千万円となっております。内、教育費は31億3,350万8千円で、一般会計全体に占める構成比は9.2%となっております。平成25年度の当初予算では314億円、内、教育費は29億5212万2千円でしたので構成比は9.4%でした。前年度に比べ、一般会計全体では27億9千万円の増ですが、増加率は8.9%でしたが、教育費は1億8,138万6千円の増で増加率は6.1%となっております。この増加の主な理由は、耐震化や再配置に伴う改修など学校施設整備の工事によるものが大きいというふうに思っています。また、民生費の児童福祉費のうち、子ども未来課が所管する事業に係る26年度の予算は28億9431万3千円で25年度予算の28億311万3千円に比べ9,120万円の増、率にして3.3%になっており、保育所再編による統合保育所の整備費が大きな要因になっていると思っています。平成26年度の主な事業は、子ども未来課関係では弥栄統合保育所の整備を行うこととしております。峰山保育所と久美浜保育所の2つの統合保育所は25年度からの繰越事業となっております。峰山と久美浜は年度末になるとは思いますが、年度内の改修を予定しており、弥栄は27年度当初の改装を目指して整備を行うこととしております。これらの3施設とも幼保一体化施設として整備を行います。なお、弥栄統合保育所整備に係る予算は約8億3千万円をこの当初予算に計上しています。また、旧峰山保育所と旧網野保育所は4月から私立の保育所として運営が始まります。運営前に改修ができなかったものについては施設整備の補助金を交付することとしています。また、これもこちらで資本事業計画を26年度に策定する必要があるため、保育所民営化を進めるための具体的な内容協議を行う選定委員会の関係経費を計上しております。

教育費では、学校の安全・安心確保のため、引き続き施設の耐震化を進めるため、峰山小学校・吉原小学校・丹波小学校の校舎、間人小学校の給食棟、峰山中学校の校舎棟の耐震化工事の他、27年度に一部耐震化工事を送っております吉原小学校の実施設費を計上しております。なお、橘小学校につきましては耐震化工事を予定しておりましたが橘中学校の再配置後、橘小学校を橘中学校の校舎に移設してほしいという地元の方から要望があり、老朽化している橘小学校の校舎と比較し、橘中学校の施設が新しいこと、施設の状況も良いことなどから教育環境が良いと判断し、将来的な施設の維持管理も考え、橘中学校施設を橘小学校として利用することとし、橘小学校の耐震化工事を取りやめ、橘中学校

を小学校仕様に改修するための実施設計費を計上しています。普通教室等の空調についてはよく議会の方で質問も受けるのですが、計画的に実施することとしておりまして、久美浜中学校は25年度の国の補正予算で前倒実施することとして、今回3月議会に補正予算を出します。26年度は峰山中学校を耐震化工事に合わせて実施をすることとしています。また、再配置に伴う関連経費として、交流事業や閉校式・開校式との関連経費、スクールバスの購入費等も計上しています。

学校教育では、学校教育改革構想、及び学校教育指導の重点の中で示す京丹後市の目指す子ども像「将来に夢と希望を持って生き生きと学ぶ」ことのできる子どもの実現に向け施策を進めていく事としており、26年度は峰山中学校区、網野中学校区で実施することとし、他の中学校については引き続き研究・検討を行うこととしています。また、「教育と学びのまち京丹後」の実現に向け地域全体で学校教育を支援する体制づくり、放課後や土曜日を活用した教育活動の実施研究を引き続き行う事としています。京丹後市の教育振興のための施策に関する基本的な計画である「京丹後市教育振興計画」策定について、市民を含めた策定委員会を設置し25年から協議を行っていることはすでに報告させていただいていますが、26年度中に策定を目指し予算を計上しております。

社会教育の分野では、公民館再編計画に基づいて中央公民館の運営経費と各地区に設置される地区公民館の支援を行う関係予算、また社会教育施設の管理経費、各社会教育団体への活動支援のための予算を計上しております。体育関係では27年度に本市で開催予定である全国高等学校総合体育大会、インターハイです。カヌー競技の準備経費を新たに計上した他、各社会体育団体への活動支援の予算、学校再配置に伴い増加しております社会体育施設の管理経費を計上しています。

文化財保護の分野では、市民が文化財に触れる機会の提供、郷土愛を育む取り組みや啓発事業、資料館等の適切な管理運営を行うと共に、平成17年度から行っています京丹後市史の編さんを引き続き行い、本文編1冊と資料編のうち2冊を刊行し、この3冊の刊行に伴い市史編さん事業は26年度をもって終了することとなります。遺跡関係では、銚子山古墳の整備活用のための用地の取得が25年度で終了できませんでしたので、このできなかった分の用地買収を行う事としております。また、文化財セミナー博士講座の実施、市制10周年特別記念展示他各種の展示、京都縦貫道路開通を記念し27年度に開催を計画しております「(仮称)大丹後展」の準備経費等も計上しております。

全体的な事は以上でございます。各課の方から説明をさせていただきますが、資料に付けさせてもらっています事業ごとに説明しますので、課長があちらこちらに進めることがあると思いますが、どうぞよろしく申し上げます。

(別紙により説明)

<小松委員長>

ありがとうございました。

議案第12号をご説明いただきました。

ご質問、ご意見等がございましたらお願い致します。

<森委員>

はい。

<小松委員長>

はい。

<森委員>

何点かお聞きしたいのですけれども、まず家庭子ども相談室事業で年間どのくらいの相談があるのでしょうか。先ほど、年々増加してます、ということをおっしゃられたのですけれども、どうでしょうか。

<中村子ども未来課長>

家庭子ども相談室が扱っています件数なんですけれども、平成18年度については103件でしたが、22年には倍増しまして207件、それから23年が222件、24年度が232件でしたが、25年度につきましては12月末ですでに252件ということで、24年度の年間よりも10件多いというようなことになっています。この件数につきましてはお子様1人を1件というふうに扱っております。

<森委員>

ありがとうございました。どんどん相談が増えているのにも関わらず、これだけの予算でというか、いいのかなと思います。

それから、ファミリーサポートセンターの事業なんですけれども、援助を受けたい人と助けたい人の会員登録は今現在どのくらいあるのでしょうか。

<中村子ども未来課長>

家庭子ども相談室の事業費につきましては、昨年度車も購入いたしましたし、それから25年度につきましては専用の携帯電話の方も確保させていただきました。そういうものを動かすお金だけということになりますので、額は少ないですけれどもしっかり対応させていただくというふうに思っております。

ファミリーサポートセンターなんですけれども、子育ての援助を受けたい方を「おねがい会員」、援助を行っても良いよという方を「まかせて会員」というふうに呼んでおります。おねがい会員が、25年度の今の現状で91人、まかせて会員の方が33人、お願いもするけども任せてもらっても良いよという両方会員の方が7人というような状況になっております。

<森委員>

今まで気が付かなかったのですけれども、その中で保険加入経費ということで、お互い何かがあった時のためにこれは充実してあるということで大変良いことだなと思いました。安心して預けられたり預かれるというのが、お母さんにとってはとっても良いことではないかなと思います。

それから、5ページの学校安全対策事業なのですけれども、登下校時の除雪ですね。歩道を除雪する除雪機を設置されたということですか。

<山根学校教育課長>

歩道除雪については、基本的には道路管理者が行うという整理をさせていただいております。

まして、市でいきますと建設部の管理課が担当をしています。今回平成25年度に配備をしました除雪機については、全て学校に備え付けのものでございまして、基本的には学校の敷地内の登下校、通路というのですかね、そこをあけてもらうというのが前提ですが、歩道除雪が出来ていないという状況を把握しておりますので、可能であればPTAの方だとか地域の方をお願いをしていただいて、その方が、早朝ということではなしに時間の合間をみてあけていただくというようなことは学校の方から今お願いをしていただいているような状況があります。その登録をしていただいた方については、保険加入をさせていただくという事で今は進めさせていただいています。

<森委員>

小学校の事務補助経費と中学校の事務補助経費で同じことが言えるのですけども、再配置によって府費負担の事務の方が余ってくるかと。そういう方には入ってはいただけないから市費の臨時職員を配置ということなのでしょうか。先ほどありましたね、大宮第一小学校と久美浜中学校についてです。

<山根学校教育課長>

私が聞かせていただいているのは、事務職員の配置についても府費の場合それなりの基準を持っておられるというように伺っています。その辺り木本理事の方が詳しいのかも分かりませんが、その基準に基づきますと、配置ができないという状況がある場合には、業務の内容として市の伝票等もきっていただいていますので、各学校の管理運営経費を、できるだけその負担軽減をしたいという思いがあります。そういう意味から言いますと、大宮第一小学校とそれから中学校の2校については、府費負担の職員さんが一人でやっておられるという状況が平成25年度でありますので、支援をさせていただきたいというのが1点です。それからもう1つ、久美浜中学校についてはスクールバスの運行台数が今年度から増えましたので、これを全て教頭先生にお任せをするということにはならない、教頭先生はやっぱり学校全体の中心で動いていただきたいと思いますので、そこを少しでも援助がしたいということで、市費単費の事務職員を置く予定をしております。

<木本教育理事>

関連してよろしいでしょうか。

府費負担の事務職員ですけども、基本的には1名なんです。それで、学校規模が相当大きくなって高等学校くらいの規模になりますと複数配置になるのですが、基本的には1名しか付きません。それで、たまたま京丹後市の場合は加配措置というのがありまして、現在峰山中学校に1名、府費負担の事務職員の加配が入っております。これも、だいたい3年ごとに学校が変わりますので、その変わった学校も峰山中学校クラスの規模の学校になりますけども、それでも業務が大変多忙になりますので市費の方で賄っているという状況です。

以上です

<森委員>

はい、分かりました。

それから、最後にもう1点。公民館の方なのですが、かなり金額差があるなどは

思っていたのですけど、大宮の場合はアグリセンターの管理運営事業で、あと網野は体育施設管理運営事業でということなのですから、その部分は良いです。峰山地域公民館は確かに人口割にしてもかなり多いと思うのですけれども、丹後地域公民館とか弥栄地域公民館、久美浜って金額の差がかなりあると思うのですが、これはなぜでしょうか。

<土出社会教育課長>

また峰山地域公民館に関わります関係経費ですが、峰山地域公民館に関しては利用頻度が高いという事もありますし、それから修繕に係る経費が老朽化に伴って利用に必要な設備が確保できない、機能が確保できないということがありますので今回計上しております。それから弥栄と丹後につきましては管理経費につきましては、これもかなり差があるわけなのですが、同じくその施設の管理部分で光熱費が丹後町の方が多いということになっています。これは施設冷暖房について一括管理をしておりますのでその関係で経費についてかなり差額が高くなっているというのがあります。ただ、久美浜地域公民館につきましては図書室はあるのですが、公民館としての施設の貸し出し業務というのが、施設の設備上ありませんので、その分設備の維持管理に係る経費は低くなっております。

<吉岡教育次長>

弥栄の公民館は日直等の対応について、庁舎の日直がしていると思います。土日とか夜間。だから、丹後と峰山は専用の方を雇っていているので、その臨時の賃金の分が大分違うと思います。

<森委員>

分かりました。ありがとうございました。

<野木委員>

すみません。昨年も質問したと思っているんです。教育費の予算の構成比に関して質問させていただきます。平成24年は20.3%、昨年度が9.4、26年度が9.2%という構成比になっているのですが、市長はスポーツだとか教育も含めて推進していくんだというような取り組みをされている中で、少しずつ予算の構成比が少なくなっている。小中の統廃合がある程度終了してくるとこの構成比なんかももっともって下がっていくのなかというような気分はあるのですが、私はやっぱり10%というような教育費の構成比というのはやっぱり目指すべきだろうと思うのですが、その辺りはどうなのでしょう。市長がスポーツとか色々取り上げている中で予算配分は、やっぱりこういう少しずつ少なくなっていくかざるを得ないような経営しかできないのでしょうか。

<吉岡教育次長>

構成比としては少なくなっているのですが、全体の事業費は教育費も増えていっているという状況です。額としては増えてきていると思っています。それから、反面、市全体で考えた場合に、他の費目、例えば衛生費とか農林費とか商工費のそちらの事業費がずいぶん増えてきている関係があって、割合が少なくなってしまうということです。例えば、農林や商工なんかについては、今経済の方が低迷しているのでその関係の費用を結構増やしている関係もあって、どうしても増えてきているということになると思います。た

だ、教育費についても施設整備が少なくなったとしても一定の額はやっぱり確保しなければいけないと思っていますので、それについては今後も努力していく必要があるかなと言うふうにしています。市長の思いとしても、決して教育費を少なくしようという思いはないと思っています。

<野木委員>

それは安心しております。

その中で、15ページに幼稚園として教諭の免許の更新の経費として旅費とか受講料を計上しますということで、これはもう完全にそういうふうになっているものなのですか。こういった個人の免許の部分の支援といいますか、そういうものを補助するというのは昔からそうになっているのか、今年そういうものが計上されたのか質問します。

<中村子ども未来課長>

幼稚園の免許は、一度取得すれば更新が前は必要ではなかったのですが、途中から更新が必要という風になりました。それから24年度くらいからですか、私が来てからは少なくとも公費で全て対応させていただいております。幼稚園と保育所が一体化したような施設をどんどん増やしておりますので、やはり幼稚園免許を持った職員はたくさんおりますけど、更新をしないと幼稚園の方も担任してもらおうということになったらできませんので、統合保育所と幼稚園とあと3ヶ所、あと1年後にはできますのでそうした状況に対応するために25年度、26年度は計画的に更新が必要な職員については市費で対応していくということで、25年度から明確にさせていただいて対応しております。

<野木委員>

私はその部分がちょっと分からないのが、個人の資格の部分を市の予算の中で補っていくというその仕組みとか考えが、ちょっと私には理解できない部分が正直あります。ただ、意味合いはよく分かるのですが、他の部分といいますか、こういった教育以外のものであれば、個人の資格において市の支出で支援していくというのはあるのかなというような疑問を率直に持っております。

<吉岡教育次長>

市の行政施策の中で、途中で免許が必要になったり、そういうようなものがでてくるようなものが若干あります。それで、今回も保育士で採用されている職員についてはたまたま幼稚園の教員も持っていた職員がたくさんいましたので、幼稚園の方に勤務してもらうことは可能なのですが、中には更新をしたくない、別にしなくても良いというような職員も結構います。ただ、市の施策として幼保一体化施設として幼稚園を増やしていきたいという思いがあるので、それについては絶対更新をしてほしいということをしてできるだけ依頼するといったら変ですけど、その取るように指導をして取ってもらっているという形になっています。だから放っておくと多分更新しないだろうと思います。

<小松委員長>

何年で。

<吉岡教育次長>

幼稚園も10年ですね。

<山根学校教育課長>

今次長も申しましたけども、職員採用の資格が、要件が、保育士だけなのです。今言いました、たまたま幼稚園の資格も持った職員であるという、今になれば。全旧町域に幼稚園を設置するといった時に、保育士資格では幼稚園の教諭ができないので、その教諭を例えば切れた人は復活をしてもらおうとか、ちょうど更新の時期にある人は更新をしていただくということを市の施策として取り入れたという事です。従って、今後もそのことがずっと続いて行くのかといったら、それはまた施策として考えていかなければならない部分。そうしなければ幼稚園が各町域にできない状況があったというのが事実だと思っています。

<中村子ども未来課長>

こういうことが明確になってから保育所の職員とか採る時には、現在ではもう幼稚園教諭の免許と保育士の免許を両方持っていないと応募ができないというような形にしております。

<野木委員>

今の状況がそうであるという、分かりました。ただ、何となくうーんという感じになるのですけども、今の現状がそうなのだとすることは分かりました。

<森委員>

私も野木委員と同じような意見を持っているのですけど、個人の資格なのにどうしてそこまでっていうような思いもあるのです。その資格更新に行かないといけないということがあれば、有給休暇ではなくて、休みはというか、融通は付けたらいいと思うのですけど、そこまで旅費とか必要なかなとちょっと疑問にも思っていたのですが、立場変わればいろいろで、多分普通の一般企業だったら自分の資格は自分でというふうになると思うのですけど、その辺でさっき教育次長が言われたように、もう免許更新しないみたいなことを言われると、それはそれで困る部分もあると思うのですし、そうならそうで、じゃあ辞めてくれとかいうわけにはいかないですものね。

<吉岡教育次長>

そこら辺の人事とか難しいとこなのですけど、たまたま幼稚園の教諭の資格を持っていたものがいるという事です。

それで、極端な話をします。例えば、今回社会教育主事を取ってもらおうと思っているのですけど、今までは社会教育主事を持っていない職員は社会教育主事を取る場合1ヶ月くらい研修に行きます。何十万という費用が要りますけど、これはもう公費で払って社会教育主事の資格をとってもらおうという形になります。それから保健師さんなんかだったら保健師の資格を持っているのですけど、安全衛生委員会の衛生管理者なんかも取ってもらおうことなのですが、これも費用が掛かるのですけど、何にも言わなかったらわざわざ保健師の資格を持っていて衛生管理者を取らないですから、そういう費用は市が出すような形になっています。市の業務として、途中で取ってほしいというようなものがあつた場合は、

その費用を出すような形を取っています。資格は個人にかえります。

<野木委員>

じゃあ、よく旧町の場合だと大型特殊免許を職員が取った時に公費で取りましたよ、というようなことと同じような考えでよろしいのですか。

<吉岡教育次長>

そうです。

<野木委員>

よく分かりました。

<森委員>

そう言われるとよく分かる部分もあります。

<文珠委員>

予算を出すことができまして、教育関係、文化財関係、社会教育関係、児童福祉関係等々多岐にわたり、また大きな事業から細かい事業に対してまできめ細やかに予算を作っておられます。大変すごいなと思っております。是非この予算を無駄にならないように活用いただきまして事業を推進していただきたいというふうに思っております。全体的な感想としては、私は細かい所だけちょっと教えて下さい。11ページの小学校就学援助事業で、要・準保に対しての就学援助というようなことの項目ですが、その中の就学援助費、カッコ書きがあるのですが、学用品費、新入学学用品費、校外活動費等々ございます。小学校の方にはないのですが、その中で、卒業する時のアルバム費はこの中に入らないのかなとちょっと一瞬思いました、やっぱり該当しない項目であるということで良いのでしょうかね。

<山根学校教育課長>

アルバムには出していません。記念品になっていたら分からないと思います。

<吉岡教育次長>

アルバムが記念品になっとったら分からんゆうことだね。

<山根学校教育課長>

アルバムを買って、そのアルバムを活用して卒業アルバムを作っておられる学校があるように聞いたことはあります。アルバム自体は記念品で、公費で買っている部分があると思いますので、それから何かいろいろと作成をしているようなことは。

<森委員>

中身があるか無いかの違いということですか。

<米田教育長>

そうか分からんな。

<山根学校教育課長>

卒業記念品については1,260円という単価をもっているのですが、それ以上は公費としては出していないです。

<吉岡教育次長>

市から、その記念品の分をアルバムに使っているところはそれを使って、足りない分は保護者負担をしているかも知れません。

学校によって多分金額も違うと思うので、アルバム代が。

<山根学校教育課長>

卒業記念品費に係るものについて、公費としては要綱上ないというように整理をしており、国の要綱上入っていないという事ですので、要綱に沿って京丹後市の方も対応していません。

<中村子ども未来課長>

すみません、よろしいでしょうか。

先ほどファミリーサポートセンターのおながい会員、まかせて会員の人数を報告させていただいたのですが、申し訳ありません。ちょっと1年前の数字を私報告させていただいてまして、2月1日現在ではちょっと違いましたので訂正をさせていただきます。おながい会員が81人、まかせて会員が32人、両方会員が5人という事になります。申し訳ありませんでした。

<文珠委員>

別にもう1点お願い致します。スクールバスの中学校通学対策事業の件で①中学校スクールバス運行管理事業ということで大きく項目が、予算がでております。スクールバスは中学校再配置によりとても重要な通学手段としてなるわけでございますけれども、以前からも小学校のスクールバスに関してはわかり狭い地域の中から学校へということもあるので、中学校になりますと大変広範囲から、また多くの生徒がスクールバスを利用するという事になるかなと思います。久美浜中学校でも既に実施されていまして、そこら辺はもういろいろ運行方法等準備なされていると思うのですが、私もちょっとよく確認できてないので分からないのですが、1ヶ所の所に集まっていただいてそれを連れてくるという方式が今とられているのか、それともずっとラインに沿って各場所に子どもを乗っけていく方式になっているのかなというふうに、どちらにしてもその場所場所で良い方法を取られていると思うのですが、見ていて気になるのは、停留場が良い所にあるのかなと、ちゃんとした、例えば雨風を避けるくらいのこと設置してあるのかいなど、これから丹後町の方も作る、また網野町も再配置が来年以降計画されている中で、生徒たちが待っている場所はどういう状態なんだろうというのはすごく心配になってくるのですが、そこら辺の現状と教育委員会の考え方というのはどんなことになってくるのかという、もっと地元とそれこそ話していただいてそういった気運を盛り上げていっていただけたらなというのは大いにあります。

〈藤村教育総務課長〉

スクールバスにつきましては、特に25年度から久美浜地域が始まりましたので、一番面積的にも広いということで、谷もたくさんあります。ということで、何系統かに分かれて行って、その途中で基本的には1つの地区に1ヶ所というバス停を設けて、そこから乗車していくというような形になっています。バス停については、基本的には市営、特に久美浜町の場合はもともと市営バスが走っている部分が多いですので、そのバス停を基本としておりますが、中にはそこよりもこちらの方が良いというようなことも、それはPTAなり地域なりと話をすることで場所を変えたりすることもあります。かなり範囲が広がりますので、できましたら全体を30分以内くらいで運びたいという思いがあるのですが、やはりこれは依然からですけど、例えば蒲井や旭の方からだと途中で乗り継ぎなんかもしますので、やっぱり40分以上かかって通っていただいている所もあるというのが現状になっています。また、バス停でそういう雨風を防ぐ所につきましては、地域の方で中には作っていただいたりしている所もありますけども、なかなか市費でそういうものを作るといふことまではいっていないというのが現状でございます。

〈文珠委員〉

現状はそれほどたいしたことはないのだろうと思いますけども、例えばぱっと自分勝手に考えるならば、1ヶ所に集中して待合場所があつて、そこから運んでいくと、その集中する場所はやっぱり人が沢山になるから、例えばそこに自転車で来る子達もいるだろう、歩いてくる子達もいるだろうと。それが30人、40人になってくるとすごい場所もあるし、そういった設備もあつた方が絶対良いと思うことがあつて、これが、久美浜はあまりそういうことを考えなくても良かった、それから丹後町でもしかしたらそういうことを考えないかんかも分からん、網野町で考えんなんかも分からん状態があるので、やっぱりいろんなスクールバスのそういう所がね、いろんなところを話題に挙げてもらつて、どうぞ地元を突ついただきたいというふうに思います。

以上です。

〈小松委員長〉

他にございませんか。

〈小松委員長〉

それではお諮りを致します。議案第12号「平成26年度教育委員会関係予算について」につきまして、承認にご異議ございませんでしょうか。

〈全委員〉

異議なし。

〈小松委員長〉

異議なしと認め、承認と致します。

〈小松委員長〉

次に、報告議案が1件ございます。

報告第5号「京丹後市立学校医の解嘱及び委嘱について」を議題と致しますので、説明をよろしくお願い致します。

〈米田教育長〉

教育次長の方から説明します。

〈吉岡教育次長〉

報告第5号「京丹後市立学校医の解嘱及び委嘱について」説明をさせていただきます。大宮第一小学校の学校医として委嘱をしてお世話になっておりました谷口謙氏から、1月31日をもって辞職をしたい旨の申し出がありましたので、これを承認し、後任に久美浜町浦明1258番地齋藤治人氏を委嘱しましたので報告いたします。

学校医は学校保健安全法で学校におくこととされておれておりました、委嘱については医師会からの推薦を基に行っております。任期は平成26年3月31日までとします。

なお、本来でしたら人事案件ですので従前のおり事前に審議をいただくものなのですが、任命は医師会からの推薦に基づいておこなっていること、また推薦を待って任命しましたことから本定例会の報告としましたのでよろしくお願い致します。

以上です。

〈小松委員長〉

ただ今、報告第5号をご説明いただきました。

ご質問等がございましたらお願い致します。

〈小松委員長〉

ご質問等ございませんか。

それでは、以上をもちまして本日の議事はすべて終了させていただきました。

続いて3のその他ということで、何かありましたらお願いしたいと思います。

〈小松委員長〉

ございませんか。

ないようでしたら、以上をもちまして第3回京丹後市教育委員会臨時会を閉会と致します。ご苦労様でした。

〈 閉会 午後5時35分 〉

[ 3月定例会 平成26年3月7日(金) 午後4時00分から ]